

永山学園通り周辺の柳（街路樹）などについての 意見交換会の実施結果

■日時・会場・来場者数

日時	会場	来場者数
令和2年 8月23日(日) 10:00~11:20	永山公民館 ベルブホール	6名

■説明内容

1. 多摩市における街路樹の現状
2. 柳の伐採の検討内容について
3. 歩道空間の在り方などについて
4. 永山学園通り周辺の現地確認

■意見交換会の様子



■柳に関する主なご意見、ご質問

Q. 柳が空洞になった原因は。

A. 柳は水辺を好み、植樹ますも小さい。生育環境が1つの原因と考えている。

Q. 危ないので早めに伐採して欲しい。柳の寿命はどのくらいか。

A. 樹木医に相談したところ、柳の寿命はそれ程短くないが植えられた環境にもより、永山学園通り周辺の柳は、寿命ではないかという見解であった。

Q. 危ないから伐採することは理解するが、今後はどうなるのか。

A. 今後の道路形態については、諏訪・永山まちづくり計画などと合わせて、皆さんの意見を聴きながら検討していく。

■歩道空間に関する主なご意見

- ・歩道は通行しやすいように、何も無い方が良い。
- ・歩道幅員は広い方が良い。舗装の見た目(カラー舗装など)にも配慮して欲しい。
- ・歩道の舗装は、水が浸透するようにして欲しい。
- ・歩道空間を変える際は、ガードパイプの再整備を検討して欲しい。